※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　（学）教育科

教科	（学）教育	科目	ペアレンティング	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「ペアレンティング」は総合学科ならではの特色ある科目です。親子関係を豊かにする知識・技能を幅広く修得し､親子関係を育てるコミュニケーションプログラムに興味･関心をもちましょう。
・「ペアレンティング」は後期科目のため１日に２コマ分の授業を行います。
・「ペアレンティング」では、１つのテーマに対してお互いに意見を述べたり、グループで議論したり、考えたことをレポートにまとめ発表するといったプロジェクト型の学習を行います。
・ペアワーク、グループワーク、卵のワークなど周りと協力して取り組む課題があります。恥ずかしがらず積極的に取り組んでください。
・地域のみなさんと協力して親子交流会を行います。小さな子どもたちと交流します。身なりを整え、つめの手入れも丁寧にしておいてください。
・親子関係の在り方について関連する情報を調べてまとめる課題を定期的に提出してもらいます。根気強く取り組んでください。
・授業中のプリントの記入においては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。枠外にあるメモ欄に授業で取り扱った内容について自ら考えたことや気になった点を記入してください。

２　学習の到達目標

（１）家族や社会における親としての役割を理解するとともに、親と子の関係を育てるペアレンティングプログラムの基本的な知識・技能を身に付けている。
（２）家族の機能や家族関係、子どもを取り巻く社会環境の変化に気づき、子どもの人権を尊重する視点に立って親としてどうするべきかについて考察を深めている。
（３）親子・家族・友人の間で経験する場面を想定したロールプレイ実習や親子交流会を通して、他者と関わる力を高め､主体的かつ協働的に家庭や地域のよりよい生活を創造する態度を身に付けている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間関係の基礎となる親子・家族・友人とのコミュニケーションを想定し、様々な立場から相手の気持ちを考えること、また、相手の気持ちを受け止める大切さを理解する。	他者との関わりの中から、家庭・家族のあり方について親または子のそれぞれの立場から考察し、現代が抱える家族関係の問題について議論できている。	様々な立場から家族関係のあり方を見直し、よりより社会の実現に向けて他者と協働しながら課題に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月 〜 2月	ペアレンティングとは	ペアレンティングとは ・親からの自立 ・親になること ・親であること	a:社会環境の変化や課題について学習する中で、親子関係を育む大切さを理解し、ペアレンティングプログラムの基本的な知識・技能を身に付けている。 c:ペアワーク、グループワークに積極的に参加する中で、家庭や社会における親の役割について理解を深めるとともに、他者と協働して課題に取り組み態度を身に付けている。	ワークシート ペアワーク グループワーク		ワークシート 観察 ペアワーク グループワーク
		コミュニケーションのとり方 ・気持ちの受け止め方 ・働くとはどんなこと ・親子関係レポート	a:様々な立場からのロールプレイを通して、互いの気持ちを尊重しながら気持ちを表現する意義に気づき、目的・場面に応じて適切に関わるための技能を身に付けている。 b:親子関係のレポート作成から家族・家庭を取り巻く社会環境の変化と親子関係との関連性について整理し、まとめ・分析することで、現代の社会が抱える親子関係の課題について自分の考えを表現している。	ワークシート ロールプレイ	レポート	
	家族と子育て	家族 ・わが家はどんな家族 ・親子交流会	a:自分の家族関係の振り返りを行い、親と子のそれぞれの立場で家族・家庭の在り方を深く考察し、互いを尊重し支え合いながら生活することの重要性について理解している。 c:親子交流会に主体的に参加し、様々な大人や子どもたちと触れ合う中で、他者と関わる力を高め、地域および社会の一員としての自覚をもち、よりよい社会の実現をめざして学習に協働的に取り組む態度を身に付けている。	ワークシート		ワークシート 観察

※令和４年度以降入学生用

		子育て ・子育ては大変か ・事例研究	a:親の役割と保育、子育て支援の重要性を理解し、安心して子育てができる社会について考察を深めるとともに、子どもの発達に応じて適切に関わるための技能を身に付けている。 b:事例研究を通して、育児不安・育児困難・虐待予防等の子ども・親・家族への支援が必要な課題について理解を深めていく中で、倫理的な職業観を形成し、現代の社会が抱える家族関係の問題を議論している。	ワークシート	レポート 観察	

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度